

## ふるさと講座・歴史系第1回目

# 歴史の道を歩く 江戸時代のバツケ！

## ～野付通行屋・番屋跡遺跡を訪ねる～

道内でも珍しい江戸時代の遺跡を訪ねます。また、野付半島の春の息吹も感じられることと思います。

## 遺跡の見どころ！

野付半島は、全長 26 kmの日本最大の砂嘴（さし）（海上に長く突き出した形状で砂が堆積して出来た半島）です。

半島の先端には、国後島へ渡るための要所として、寛政 11 年(1799)に幕府によって設置された「野付通行屋」の遺跡が残されています。

この遺跡は、2003～2005 年に海岸浸食を受け崩壊の恐れがあり、遺跡の半分を発掘調査しました。

遺跡の半分は、今でも現存し、当時のお墓、建物の跡、畑の跡を見ることが出来ます

今回のツアーでは、遺跡にまつわるお話と現地の見学により、幕末の当地の様子を知っていただきたいと思います。

●1999 年頃の野付通行屋跡遺跡（写真上）とお墓（写真下）など



●日 時 平成 31 年 4 月 20 日（土）  
午前 9 時 30 分～午後 1 時

●場 所 野付半島（集合-野付半島ネイチャーセンター 2 階）  
ネイチャーセンターでお話の後、遺跡に移動します。

●ガイド 別海町郷土資料館 石渡 一人

●参加料 100 円（保険料）

●定 員 30 名

電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を 4 月 18 日（木）までにご連絡ください。

●その他 長靴を必ず着用下さい。草分け道や海岸を 5 km ほど歩きます。ウォーキングにも最適です。

●本事業は、根室振興局北方領土遺産ツアーも兼ねています。

## 郷土資料館をご活用ください！

郷土資料館は、施設の一般公開のほか、出前講座や出前移動展など、みなさまの希望に応じて実施しております。限られたメニューではありますがご活用ください。

### ●出前講座！

当館スタッフが学校(学級レクも可能)や地域の各団体へ出向いて講座を実施します。現在、下記メニューにより、別海町の歴史や自然をわかりやすくお話しします。

家族ぐるみや少人数の場合は(10人程度)、郷土資料館でも実施できます。メニュー以外でも希望がありましたらお電話で問合せください。

#### 1. 昔々のべつかい

#### 2. 幻の町キラクを探るー野付通行屋跡遺跡の発掘調査から

#### 3. 加賀家文書とは？

#### 4. べつかい缶詰物語

#### 5. 西別川の献上鮭について

#### 6. アイヌ文化ー

チャシ跡と別海アイヌの人々

#### 7. 根釧パイロットファームについて

#### 8. 化石にふれよう

#### 9. 巣箱づくり



(写真) 昔々のべつかい  
土器や石器にふれる  
火おこし体験

### ●出前移動展！

#### 1. 絵本雑録記～加賀伝蔵が見た風景～

#### 2. 江戸時代のノツケを探る～野付通行屋跡遺跡発掘調査から～

#### 3. 近世の別海を探るⅠ～ニシベツ・ベツカイ篇

#### 4. 近世の別海を探るⅡ～海岸線篇

#### 5. 近世の別海を探るⅢ～野付半島篇 6. 西別川の献上鮭

#### 7. 義経伝説とヲ子コイチャシとチフルチャシの物語

#### 8. 知られざる幕末会津藩北辺防衛の歴史

#### 9. 別海町の農業の変遷をたどるジオラマ展 10. 終戦70年～別海と戦争

#### 11. アイヌ文化-床丹1チャシ跡発掘調査から- 12. マンモスゾウがいた頃

#### 13. 小澤彦三が見た昭和初期のべつかい

#### 14. 北海道の名付け親松浦武四郎が見た根室管内の様子



マンモスゾウがいた頃

詳しくは、ホームページ  
もご覧ください。

別海町郷土資料館だより No.237

発行日 平成31年4月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

今年度の初回事業は、毎年恒例の野付通行屋・番屋跡遺跡を巡るツアーです。毎年人気のツアーで、すでに道央方面から問い合わせがあります。うれしい限りです。

4月から新しい体制です。よろしく申し上げます。(K.I)